

連帯し共に闘おう!

J R 東 労 組 大 宮 地 本 と 地 本 間 交 流 を 開 催

11月22日～23日、関西の地にJR東労組大宮地本から14名の仲間を迎えて地本間交流を開催しました。これは2年前に私たち新幹線関西地本から大宮の地におじゃまして以来、今度は関西の地でとの約束が実現したもので、分会の代表を含め総勢33名の参加で開催しました。「浦和電車区事件」「蒲郡駅事件」が上告審の闘いの山場を迎える今、反弹圧の闘いと、それぞれの地方での職場での組合活動の否定を許さない闘いについて意見交換を行いました。

交流の二日目は福知山線事故の現場を訪れ、献花し黙祷を捧げました。その後、塚口駅から電車に乗車して、事故現場を運転士の目線で確認しました。反動の嵐に抗して、共に連帯して闘う決意を固めた二日間でした。参加された皆さん、ご苦労さまでした。



あいさつする大宮地本・山口委員長



交流会参加者全員で



事故現場で献花する参加者



黙祷する参加者一同